

大村城南高産「にこまる」優秀金賞

米のおいしさを人間の食感だけで審査する「第16回あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」(山形県庄内町、実行委主催)で、大村市久原1丁目の県立大村城南高(中小路尚也校長409人)が栽培した「にこまる」がベスト6に当たる優秀金賞を受賞した。

同コンテストはメジャー、プレミアム、高校生の3部門で実施。高校生部門には全国38校60点の応募があり、予選を通過した6点が11月26日に庄内町であった決勝大会に進出。審査員が実際に食べる形式で、最優秀金賞を選んだ。

「おいしい米コンテスト」でベスト6



大村城南高産の米や野菜をPRする生徒
＝大村市東本町、コレモおおむら

同校では竹松農場(宮小路3丁目)の水田(80坪)で米を栽培。1年生時に授業の一環で種まきや田植え、稲刈りなどに取り組みんでいる。

12月3日には市内の商業施設で、受賞した「にこまる」のほか、「なつほのか」や野菜などを販売。生徒が接客を担当し、「城南産」の米や野菜をPRした。

決勝大会に参加した1年の岡本湊月さん(16)は「台風の影響などを心配したが、無事に収穫できて良かった。自分で食べても本当においしかったので、多くの人に城南産の米を知ってほしい」と話した。(荒木竜樹)